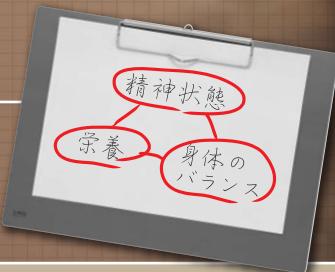


# 「痛みや不快の背景」を突きとめるのが根治治療。

人間の生命力への深い信頼にもとづく施術で

熱い信頼を集める健康ナビゲーター。

宮本鍼灸整骨院 院長 柳永善さん



text / Hiraku YAMAKAGE photo / Kanako TAGAI

人間味あふれる会話から治療は始まる  
めざすのは、柔道整復師の枠にとらわれない「健康ナビゲーター」。「戦後復興を乗りこえた世代の強さを思いながら」「患者の自立」を唱え、広い視野で治療を行なえるように「他の専門家との連携」を実現。「根治治療」にこだわる施術が大きな成果をあげる、宮本鍼灸整骨院の柳永善院長にお話を聞きました。

## 「病気は本当に悪いものなのか?」

ヘビが目の前に現れたら、私たちは逃げます。でも、ヘビは研究している人は興味があるから捕まえに行く。このヘビは毒をもっていない種類だと知つていれば逃げる必要はありませんから。これまでの西洋医学では「病気は悪いもの!」という考え方の一辺倒だったけれど、患者さんへ「病気は悪いものではなく、自分自身への何かのサイン」とアドバイスすれば「病気は怖くないもの」と思つてももらえるはず。その病気 자체を受け止めるのか、否定するのか。「オレは癌。もうすぐ死ぬ」と思うかの違いです。治療をしても病気を受け入れられない、常にこの治療で治るか?などと不安になってしまふ。自分のことだから否定する必要はない。否定しながら物事をやると、うまく回らないことが多いでしょう。「病気は悪いものではなく、体が自分に教えてくれるサイン」と思えば、ラクに対処できる。「これまでどんな生活スタイルでやつてきたの?」「体をどんなに酷使してきたの?」というサインと受け止めて、それを改めていけば良くなるという考え方なんです。

## 新しい治療法を積極的に取り入れる

ある時、大切な患者さんが病気で亡くなってしまい、「なぜこの患者さんの身体の変化に気づいてあげることが出来なかつたのだろう。」と治療家としての力のなさを痛感しました。そこで、原点に立ち戻つて患者さん各々にある「病状の背景」から考えなければならぬと気付き、「カイロ・プラクティック」を取り組みました。そこで、「第一頸椎」を治療すれば全身がラクになるという特殊な治療法を学びました。さらに今、「全身を診る」治療法も学んでいます。これは皮膚、内臓、精神、栄養といった全てをトータルで行なう治療法です。さらにもう一つ重要な「栄養学」も勉強しています。栄養学に基づく血液のデータから栄養状態や健康状態を分析し、西洋的な見方と自分で培った臨床的な見方をマッチングさせて治療しています。もし血液の状態が悪いと細胞に新鮮な栄養素を送り込めない。そのようなことをデータを診てお話しし、患者さんとともに症状の原因を考えていくわけです。そんな

観点で行なった治療の例をあげますと、畠仕事で足が抜けるような感じがしたという70歳前の男性の患者さんがいました。両足の血圧を測ると左右に差があり、「これは血流などの内科的な問題かも」と直感して内科と循環器科を受診。脈を診るといつもはないはずの不整脈の症状があり、頸動脈のエコー検査では動脈硬化が進んでいて「心臓弁膜症」との診断でした。脚の症状から重大な病気を見つけられたのは、広い視野での患者さんを診るという習慣と、医師との連携による成果でしょう。これら慢性的な症状で来院される患者さんへの対応は「保険適用外」で、経済的に困難が伴うところが課題です。

## 「患者さんを自立させたい」

基本的には患者さん自身が改善しなければ治らないものも多いので、患者さんがご自身としつかり向き合って考えてもらつて、自立していくことが大事です。例えば、血液データを診て気付いた「この部分のデータが正常になれば治療が効果的に進む」といった重要な内容ははつきりと伝え、そこからは患者さんがご自身の状態と向き合えるようにアドバイスします。そんな成果があらわれて、血液データを毎回持ってきてください。治療前は食べられなかつた卵を「一個食べられるようになった」という言葉を聞いたりしたときは、本当に嬉しいですね。

## “健康のトライアングル”と“分科診療”

これまでには目標とする治療院があり、それを目指してやつてきた中で、問題点を改善しながら、方向性も見えてきました。健康は「栄養状態」「精神状態」「身体のバランス」のトライアングルで成り立つと考えています。これが整つていると病気をしにくいはずです。だから、患者さんの「トライアングルのどこかが崩れていないか」という視点を常に大切にしています。周囲に接続骨筋がいくらできても、治療力で患者さんに選ばれるどう治療院が理想ですね。そして、様々な疾患をより専門的に扱えるよう分科していくことが今の目標です。例えば「妊婦さん専門」とか「スポーツ選手専門」など。もちろん保険適用外の治療にはありますが、そのほうが患者さんに適した環境を整えら

## 3つのポイント

1 人間の生命力に対する信頼を治療コンセプトに

2 東洋・西洋の枠にとらわれない柔軟な治療方針

3 専門医療機関との緊密なネットワーク

## 保有資格

柔道整復師  
分子栄養医学健康指導士(分子整合栄養医学協会認定資格)  
血液栄養診断士(分子整合栄養医学協会認定資格)  
JSC準会員(日本カイロ・プラクティック師協会)  
大阪府生涯スポーツコーディネーター  
高齢者介護予防筋力向上トレーニング指導者  
コンフォ・マーブルハイテック認定技術者